

笑雲

しょう

うん

第59号
発行：平成25年7月14日

祥雲館

社会福祉法人 桃林会

〒563-0101
大阪府豊能郡豊能町吉川187-1
TEL：072-733-2301
FAX：072-733-2303

番号をお間違いないようご注意ください



高齢者住宅開発プロジェクトの 検討結果を報告しました!

「住み慣れた地域で暮らし続ける」ためには、地域で何が必要ですか？4月27日の福祉カフェでは、このテーマを取り上げ、参加者による意見交換の場を設けました。地域の方々や福祉施設で働

く職員に加え、田中龍一豊能町長も参加される中で、福祉カフェが開催されました。最初に地域住民と福祉職員から構成された高齢者住宅開発プロジェクトのメンバーによって、検討結果の報告がありました。自宅を暮らし続けることを誰もが、当たり前のように考えている一方で、自宅や地域を離れざるを得ない厳しい実情が語られま



した。検討報告では、高齢者が地域で暮らし続けるためには、高齢者が支えあつて暮らせるような住宅群が必要だと結論付けられました。福祉カフェの当日に配布された検討報告書は、500名近いアンケートのデータを基に、全8回にわたるプロジェクトメンバーの議論が集約されています。町内で新聞折り込みとして入る高齢者住宅のチラシを一覧化したものや、住民や地域の特性を活かした高齢者住宅にするためのポイントも掲載されています。また、居室のイメージや整備に至るまでのスケジュール案、家賃の試算までもがご覧いただけます。



詳しくは、祥雲館の本館事務所で配布（ホームページからのダウンロードも可能）していますので、ぜひ一読下さい。カフェタイム（意見交換の場）でも、参加者全員で高齢者住宅をテーマに議論しました。「整備を急ぐべきで、なぜ進まないのか？」「誰もが利用できる安い家賃設定にするには、どうすればよいのか？」「高齢者が暮らしやすい場所とは町の中で、どのあたりなのか？」などの問いが立てられました。この難しい問いに対して、一人ひとりの参加者が、はっきり自分の考えを述べられていたことが、とても印象的でした。そして、この議論は田中



町長からの町づくりへの熱い思いの語りによって締めくくられました。地域住民と福祉職員が協働で進めた高齢者住宅開発プロジェクトは、全国的にも先駆的な活動です。祥雲館カフェでの「地域の高齢者の困りごと」についての対話が、プロジェクトに発展し、検討報告書がまとまり、田中町長を交えての報告会にまで至ることになりました。この活動の成果も、豊能町の住民の独自性の象徴とも言えないでしょうか？ 田中町長をはじめ、参加いただいた地域住民の方々に感謝するとともに、この場でなされた「地域で暮らし続けること」についての対話の輪が広がることを切に望みたいと思います。今回のカフェでは、改めて高齢者住宅への地域の方々の関心の高さが伺えました。このプロジェクトの提案が、できるだけ早く実現できるように、頑張りたいと思います。



祥雲館 Café 第15回 人生の整理について一緒に考えませんか？

祥雲館Caféも今回で15回目を迎えます。今回は専門講師をお招きしてエンディングノートの書き方など、皆さんと考えたいと思います。



【日 時】平成25年7月27日(土) 10時～12時
【場 所】吉川公民館1階 【会 費】200円(茶菓代として)
【テーマ】「エンディングノートから人生の棚おろしを考える」
語り手：時野 貴広氏(東ときわ台在住)
春名 真由美氏(東ときわ台在住)

お申込みは、祥雲館 TEL：072-733-2301まで

TOPICS

★デイホームすみれ (4月1日)

妙見口駅から「花折れ街道」へ散歩に出かけました。公民館に展示していた明治時代のおひな様を見て感動されていました。

★デイホームすみれ (4・5月)

おやつレクで、利用者と「イチゴ大福」「かしわ餅」を作りました。初めてとは思えないほど上手にできあがりました。自分で作ったおやつは格別だったようです！

★特養ユニット (4月)

「イチゴ狩り」(中川農園)。4月の晴れた日に2回にわかれてイチゴ狩りに行ってきました。(右記掲載)

★共済会ソフトボール大会参加 (5月17日)

共済会ソフトボール大会3位入賞を果たしました！初夏の日差しが眩しい、舞洲スポーツグラウンドで、わが祥雲館ソフトボールチームが躍動しました。みんな健闘しましたが、惜しくも準決勝戦での「じゃんけん対戦」で負けてしまい、3位となりました。次回リベンジを誓った次第です。



★デイホームすみれ (5月20日)

五月晴れの中、箕面森町～妙見山街道へ森林浴ドライブに出かけました。山々にさいている自然の藤の花やシャガランを見て「きれい見事やね～」と感激されていました。

★グループホーム (5月19日・25日)

「イチゴ狩り」(中川農園)。5月の晴れた日に2回にわかれてイチゴ狩りに行ってきました。真っ赤な大きなイチゴを口いっぱいにしてたくさん食べてきました。

★特別養護老人ホーム (5月20日～22日)

大阪府社会福祉協議会第三者評価を受審しました。(右記掲載)

★接遇・マナー研修 (5月27日)

職員対象に接遇・マナー研修を実施しました。99名の職員が参加し、挨拶、言葉遣い、所作・動作、敬語・謙譲語の正しい使い方など、介護職員としても社会人としても必要な接遇やマナーについて学び、利用者様・ご家族の皆様、また地域の皆様から、安心感・信頼感を感じていただけるよう施設をあげて努めてまいります。



★デイサービスセンターみずほ (6月3日)

デイサービスセンターみずほのお風呂が、「檜風呂」にリニューアルしました。大浴場も良かったのですが、温泉気分でのんびり、お一人でゆったり入浴していただけるよう、檜の香りがプンプン香る、浴槽に生まれ変わりました。利用者の皆様の評判も上々で、多くの方にご利用いただきたいと思います。ぜひ一度ご覧になってください。



★デイサービスみずほ(6月5日)

「犬のぬいぐるみ作り」
現在、みずほでは、犬のぬいぐるみを作っています。作っているときの利用者は皆さん真剣そのものです。



春の陽気に誘われ、イチゴ狩りの季節がやってきました。特養ユニットでは、4月中旬、下旬と2回に分けて8名の利用者者と能勢のイチゴ狩りに行ってきました。グループホームでも5月の中旬に2回に分けてイチゴ狩りへ行きました。スタッフが1名ずつ利用者とペアになり、一緒に



にイチゴを摘みました。皆さん、たくさん召し上げられ、大変喜ばれていました。ある利用者は、イチゴを25個も召し上げられたんですよ。イチゴは一粒が大きくて、とても甘かったです。また、来年もいきましようね。
(新型特養ホーム2階)

イチゴ狩り

にイチゴを摘みました。皆さん、たくさん召し上げられ、大変喜ばれていました。ある利用者は、イチゴを25個も召し上げられたんですよ。イチゴは一粒が大きくて、とても甘かったです。また、来年もいきましようね。
(新型特養ホーム2階)

楽しく過ごしてもらうために

シヨートステイは、利用者の安全に気を配り、家庭での生活と同じように安心していただくことを目標にして、利用者のお世話をさせていただいています。しかし、利用者からのアンケートで「ここにきても退屈です」「レクリエーションはないのですか」などの意見をいただいています。



利用者への期待に一つでも近づけるため、利用期間中に楽しい時間を過ごしてもらえよう
な制作(貼り絵や季節の作品作りなど)、カラオケ、クイズなど様々なイベントを実施しています。
特別養護老人ホーム祥雲館では、5月20日～22日の3日間、大阪府社会福祉協議会第三者評価センターによる外部(第三者)評価を受審しました。
開設から今日まで、利用者の皆様に対し、よりきめの細かいサービス提供の実現を目指してまいりました。調査員の方からは、温かいお褒めの言葉を頂戴した反面、厳しい指摘、指導も数多く頂戴し、取り組まなければならない多くの課題、改善の必要性を改めて認識する良い機会となりました。
今後も、利用者の皆様への高いサービスを提供できる施設になるよう、努力してまいりたいと思います。

特別養護老人ホーム祥雲館
主任 凧操

受けてよかった第三者評価

ホスピタリティ～おもてなし～について、6グループに分かれ接遇・マナー向上に向けて活動しています。利用者、家族、来館者、そして職員の誰もが気持ちよく過ごせる施設を目指し取り組んでいきます。今後は、家族会などでも取り組みの報告をしていきます。

ホスピタリティプロジェクト

編集後記
今回より、広報担当がかわりました。祥雲館の魅力を多く発信し、一人でも多くの方に読んでいただける広報を目指し奮闘しています。広報誌「笑雲」へのご意見・ご要望は祥雲館広報担当へご連絡ください。 ☎072-733-2301 mail:koho@syownkan.jp (担当 滝本)